



ロータリーは機会の扉を開く

成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2020年～2021年度会長 ホルガー・クナーク

第2921回例会 令和3年5月7日（金）

◇ 出席奨励委員会 神崎 誠 会員

先月の出席率は69.53%でした。緊急事態宣言が解除されましたので、欠席される場合はメーキャップをお願いいたします。

◇ S.A.A. 樋口 慎一 会員

例会中の携帯電話につきまして、マナーモードをお願いいたします。また、例会を欠席される場合は、必ず事前にご連絡をお願いいたします。特に例会当日に役割を担う方が欠席される場合は申し送りをされ、例会が滞ることのないよう、委員会で事前に調整をお願いいたします。例会をより良いものにするためにご協力、宜しくお願いいたします。



◇ 点 鐘 堀口 路加 会長

◇ 国歌斉唱

◇ ロータリーソング 奉仕の理想

◇ 四つのテスト 山中 寛之 会員

◇ お客様

R I J Y E M事務統括・保険管理 津留 起夫 様（市原ロータリークラブ）

◇ 誕生日

小宮山 四 郎 会員	昭和 16 年	5 月	23 日
細 井 将 紀 会員	昭和 42 年	5 月	16 日
伊 藤 隆 治 会員	昭和 47 年	5 月	31 日
関 恒 明 会員	昭和 38 年	1 月	18 日
吉 田 稔 会員	昭和 35 年	5 月	15 日

【欠席】

齊 藤 三智夫 会員	昭和 42 年	5 月	12 日
------------	---------	-----	------

◇ 結婚記念日

佐 藤 英 雄 会員	昭和 48 年	5 月	20 日
喜久川 登 会員	昭和 53 年	5 月	5 日
土 井 英 二 会員	平成 5 年	5 月	15 日
浅 野 正 博 会員	平成 15 年	3 月	30 日
山 中 寛 之 会員	平成 11 年	2 月	13 日
佐 瀬 和 年 会員	昭和 47 年	4 月	26 日



【欠席】

松 田 泰 長 会員 昭和 56 年 5 月 21 日

加 瀬 敏 雄 会員 昭和 62 年 5 月 22 日

◇ ニコニコBOX



設楽 正行 会員：先日の 60 周年記念例会から 2 週間経ちました。一人の感染者もなく胸を撫で下ろしているところです。当日は皆様一人一人が能力を発揮していただきつつがなく終えることができました。今回は女性陣が大活躍、司会、受付などで能力を発揮していただき実行委員長として、嬉しい限りです。感謝申し上げますニコニコさせていただきます。



永井 秀和 会員：コロナ禍ではありますが先月 27 日に成田ロータリークラブ同好会ゴルフを成田ハイツリーで開催いたしました。当日は 17 名の参加で、最高齢者 87 歳、お元気にプレーされておりました。ゴルフは感染リスクの少ないスポーツです。是非、皆様も体を動かして、元気にコロナ禍を乗り越えていただきたいと思います。



堀口 路加 会長：60 周年記念例会が無事に終わり、皆様と喜びを共にニコニコさせていただきます。



滝沢 尚二 会員：60 周年記念例会には、記念品として沢山のお酒の注文をいただき、ありがとうございます。美味しく召し上がっていただき、思い出していただければと思います。



小泉 英夫 会員：喜久川会員とバナーの整理を少しずつしておりますが、全国 47 都道府県のうち 5 県見つかりません。海外では 19 のうち 4 カ国見つからない状態です。皆様には全部揃ってから披露させていただきたいと思います。もう一つ、商工会議所の弦まつりの担当をしている関係上、ゴールデンウィーク中、青森で行われた第 39 回 2021 津軽三味

線世界大会へ行ってきました。大会上位者に声をかけ出演していただく約束を取ってきました。是非楽しみにしていただきたいと思います。

◇ 会長の時間

堀口 路加 会長

2020-21 年度成田ロータリークラブで最も重要なクラブ創立 60 周年記念例会が設楽正行実行委員長のリーダーシップと多くの会員の皆様のご協力を得て無事に終了できたことに改めて感謝を申し上げます。

諸岡靖彦副ガバナーには成田ロータリークラブ～昨日・今日・明日～と題する貴重な記念卓話を頂きありがとうございました。

例会場受付の名簿をみると、いつの間にか私ですら名簿の中間より前に名前があることを考えると、成田ロータリークラブの昨日に当たる歴史を知っている会員がいつの間にか少なくなっていることを実感するとともに、これから歴史から学



ぶ大切さを共有して例会のプログラムにおいてもこうした先輩からの卓話を聞かせていただくことの重要性を再認識しました。

5 月に入り、今年度も残すところ 2 ヶ月となりました。肅々と次年度に引き継ぐべきことと近藤博貴会員を中心に進めてくださっている 60 周年記念誌を完成させて今年度のまとめとしたいと考えています。

今月は青少年奉仕月間ですが、この話題は次回に回したいと思います。

東京や大阪など 4 都府県に出ている新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づく緊急事態宣言が、11 日までの期限を 5 月末まで延長し、新たに愛知県、福岡県も加え、対象を 6 都府県に拡大することになりそうです。

そこで今日は新型コロナのワクチンについてロータリーがどのように関わって活動をしているかについて国際ロータリーのホームページから情報を引用して一緒に理解を深めたいと考えます。

コロナ禍を克服するために世界中で大規模なワクチン接種が進んでいますが、そのためのロジスティクス（物流）は非常に複雑なようです。特に保管と輸送です。

ワクチンは、単に小瓶を箱に入れてトラックに積むだけでなく、メーカーから出荷されてから患者に投与されるまで、非常に特殊な条件で保管されなければなりません。ファイザー社の新型コロナワクチンは、マイナス 70℃という極めて低温度の環境で保管されなければならないことはご承知の通りです。ワクチンを推奨温度で安全に保管・輸送する信頼性の高いシステム（コールドチェーン）が求められるわけです。

信頼性の高いコールドチェーンには、3 つの要素が必要となると言われています。

①設備：最適な方法でワクチンを保管するために、特別に設計された医薬品用のユニットが必要となります。これはアイスクリームの冷凍庫とは異なり 15,000 ドル以上もします。また、ワクチンの移動にも専用のポータブル冷却システムが必要です。

②人員：ワクチンを取り扱うスタッフやボランティアは、安全な保管・輸送方法について研修を受ける必要があります。

③プロセス：ワクチン接種のための施設では、ワクチンの取り扱いに関する明確で詳細な指示と、万一の停電や天候不順などの緊急時に備えた対応策を用意しておく必要があります。ワクチンは、安全に届けられて初めて病気を防ぐことができます。暑さ、寒さ、光にさらされすぎると、ワクチンの品質が損なわれ、ワクチンの効果が低下するだけでなく、ワクチン供給の無駄や経済的損失にもつながるわけです。

ロータリーは 30 年以上にわたりポリオワクチンの輸送を世界各地でサポートしてきた経験があります。新型コロナウイルスのワクチンについてもこの経験が生きるようです。

又、世界各地のロータリークラブは、各々の地元での新型コロナワクチンの導入と配布を支援していることがホームページには掲載されています。コロナワクチン接種をロータリーがいかに支援できるか、アメリカなど諸外国で行われていることを日本にそのまま適用することはできませんが、ヒントにはなるはずです。

米国ノースカロライナ州では地区リーダーが州の保健・福祉局に連絡し、ロータリーとしての支援方法を協議したそうです。さらに、ノースカロライナ州の 6 人のガバナーが、州の保健局と共に同州のロータリー会員 12,200 人以上を対象としたウェビナーを実施し、入手可能なコロナワクチンとその配布方法について情報を提供し、会員からの質問に答えたとのこと。会員たちは、州内各地のワクチン接種会場でボランティアにあたり、データ入力、誘導、登録手続きなどを手伝う他、保健従事者やボランティアに食事と飲み物を差し入れたそうです。もちろん世界のロータリークラブでは数百件ものグローバル補助金とプロジェクトを通じて、コロナウイルスに関する啓発、重要な防護具の寄贈、前線で闘う医療従事者への支援を行っています。

ワクチンの副反応が報じられるようになり、ワクチンへの強い抵抗や誤解が広がりつつありますが、成田ロータリークラブでも国際医療福祉大学の松本哲哉教授に卓話をお願いしましたが、再度登場いただき、変異株とワクチンの効用、副反応についての卓話をお願いしたり、5月28日には成田コスモポリタンロータリークラブの藤崎会員によるコロナワクチンに関する卓話の予定もありますので、そうした様子をYouTubeでグループ内の各クラブ会員、地区内クラブにシェアすることで、ロータリー会員への啓発を進めることができるのではないかと考えます。

このように成田ロータリークラブでも、地域社会での啓発活動、感染拡大の阻止、大規模なワクチン接種を準備する地元保健当局の援助など、さまざまな方法で地元でのコロナワクチンの導入と配布を支援できることを改めて考えさせられました。何か一つでも前進できるよう相談してまいりたいと思います。

本日は市原ロータリークラブから津留起夫様に卓話のためにお越しいただきました。津留様は、一般社団法人国際ロータリー青少年交換他地区合同機構(RIJYEM)の研修部門委員をお務めです。ようこそお越しくださいました。本日の卓話、どうぞよろしくお願い致します。

◇ 表彰

・クラブ表彰

End Polio COA (感謝状)

ロータリー米山記念奨学会 寄付達成クラブ (感謝状) 7,000 万円

ロータリー米山記念奨学会普通寄付優秀クラブ 1,634,000 円

ロータリー米山記念奨学会 個人平均寄付額優秀クラブ 24,757 円

ロータリー米山記念奨学会 功労クラブ 第 61 回

・個人表彰

諸岡 靖彦 会員 ロータリー財団メジャードナー (2 回目)

成田 温 会員 ロータリー財団メジャードナー (1 回目)

堀口 路加 会員 奉仕活動優秀ロータリアン



◇ 委員会報告

・クラブ研修委員会

小泉 英夫 委員長

RLIのご連絡です。当クラブの会員の半数は、まだ受けていない現状です。オンラインでも参加可能ですので、ロータリーを深く知っていただく為に、是非受講いただければと思います。



RLI パートⅡ・Ⅲ開催内容

パートⅡ

日時： 2021年5月31日(月)

受付： 9時40分 開会 10時10分～ 閉会 18時10分

場所： 千葉市民会館 4階特別会議室2 (JR千葉駅徒歩10分 JR東千葉駅そば)

住所： 千葉市中央区要町1-1 電話 043-224-2431

パートⅢ (前半)

日時： 2021年6月5日(土)

受付： 12時30分 開会 13時00分～ 閉会 18時10分

場所： オンライン ZOOMにて開催予定。

パートⅢ（後半）

日 時： 2021年6月13日（日）

受 付： 12時30分 開会 13時00分～ 閉会 18時10分

場 所： オンライン ZOOMにて開催予定。

・米山記念奨学

渡辺 孝 会員

成島会員より10万円の寄付をいただきました。ありがとうございます。



◇ 幹事報告

諸岡 正徳 幹事

【回覧】

- ・例会変更 多古ロータリークラブ
- ・出欠表（2クラブ合同親睦ゴルフコンペ、5月例会）
- ・次年度活動計画書掲載用名簿等ご確認のお願い
- ・地区より「地区大会記念ゴルフ大会の追加募集のご案内」
- ・地区RLI推進委員会より「RLIパートⅡ・パートⅢ開催のお知らせ」
- ・国際大会参加推進委員会より「2020-21年度RI国際大会（バーチャル大会）登録開始のお知らせ」
- ・地区より「2020-21年度地区大会 無観客開催のご案内」
- ・地区財団委員会 財団資金管理・寄付推進小委員会より「2021年3月MCRレポート」
- ・地区RLI推進委員会より「RLI通信 Vol.15 2021年4月号」
- ・RI日本事務局より「在宅勤務延長のお知らせ」
- ・RI日本事務局 財団室より「財団室NEWS 2021年5月号」
- ・RI日本事務局 業務推進・IT室より2021年5月「青少年奉仕月間」のリソース
- ・一般財団法人比国育英会バギオ基金より「バギオだより第84号（2021年5月号）」
- ・北千葉道路建設促進協議会より北千葉道路（印西～成田間）の直近パンフレット
- ・成田市国際交流協会より「NewsLetter No.254」
- ・成田市社会福祉協議会より「福祉なりた No.138」
- ・パストガバナーより60周年記念品のお礼状



【連絡】

- ・5月のロータリーレート 1ドル=109円
- ・例会終了後、理事会を開催いたします。理事・役員の方はご参加、お願いいたします。

◇ ご報告

平山 秀樹 会員

3月に長女、和貴子が亡くなりました。突然の死でした。娘と落着いてお別れをさせていただくために、家族葬とさせていただき、外部に発表しませんでした。4月のうちに四十九日、納骨まで終わりました。ご報告が遅れたこととお詫びいたします。

悲しみの癒えることはありませんが、ロータリー財団に和貴子の名で遺贈する手続きをしております。なお、お心遣い等にご辞退させていただきます。



「ロータリーの危機管理について」

津留 起夫 様（市原ロータリークラブ）

D2790 地区危機管理委員長

RIJYEM 事務統括・保険管理



皆様、只今紹介を頂きました、地区危機管理委員長、市原 RC の津留です。RIJYEM で事務統括と保険の管理をしています。RIJYEM と申しますのは、RI Japan Youth Exchange Multi-District Organization の略で、日本 34 地区の青少年交換プログラムの多地区合同組織です。また、成田 RC の笠原さんには、地区の危機管理委員会で、2 年に渡り、委員を引受けていただいております。

さて、この度は、卓話のお時間を頂き大変ありがたく感謝申し上げます。実は、成田 RC さんには、大変お世話になっていながら、御礼を申し上げていない事があり、この事を心苦しく思っておりましたが、今回の機会を頂きましたので、この場をお借りしまして、ようやく果たせることとなりました。と申しますのは、2018 年の 5 月に、青少年交換の全国研究会千葉会議が千葉幕張メッセで行われた折に、全国 34 地区から集まった来日学生と派遣候補生そして ROTEX の「成田山ツアー」のご支援をお願いしたところ、矢野さんに窓口になっていただき、多くの会員の皆様と成田高校の生徒さんのご協力を頂き無事に終了することが出来ました。心より御礼を申し上げます。

その様子を少しご覧ください。



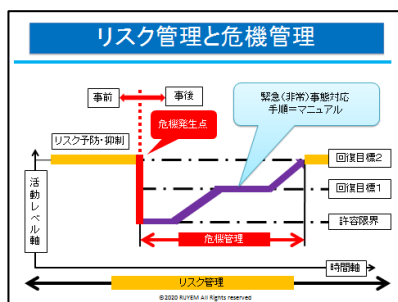


さて、本題に入りましょう。

良質な職業人、職能人の集まりである「ロータリー」と「危機管理」との組み合わせは、どうもそりが合わない気がしていましたが、実は、ここ数年前からハラスメント事案が表面化してきており、崇高であるべきロータリアン像は、単なる幻想であったのかと思わざる事態になっております。

私たちロータリアンは、ここに掲げた奉仕プログラムを初め、他にも数々の奉仕をしておりますが、日本のロータリアンが公式に性的ハラスメントを耳にしたのは、2004年の大阪国際大会、青少年交換プログラムプレコンベンションで、「交換学生が被害に遭い、加害者である地区ガバナーが収監されている」という事でした。事件が発覚したのは、十数年前のセクハラ事案を被害者が中年になってから公表したことが発端です。

ハラスメント事案は、メディアに上がらない日はないように日常的に発生しています。そして、ロータリーでも他人ごとではなくなってきました。「ごくまれで少ないのではないか」とのご意見もあろうかと思いますが、「ただ気づいていないのか、目をそらしているのか、見聞き（みきき）してもバイアスが邪魔しているのか」のどれかでないでしょうか。



「危機管理」と「リスク管理」という言葉をよく使いますが、その関係性を説明いたします。危機管理はリスク管理の時間軸の中に位置します。

リスクの管理は、リスクの評価をし、緊急事態発生時の対応手順（マニュアル）準備し、周知と訓練そして見直しをします。危機管理は、緊急事態発生時に対応手順（マニュアル）が機能しているかを確認し、不都合な場合は臨機応変に手順

を変更する等を行います。ですから、危機管理のゴールは、平常運転、つまりいつもの活動レベルに合理的に戻る事です。「危機管理の中にリスク管理を含める」という考え方もあるようですが、今回のお話では、「リスク管理の中に危機管理が入る」と考えています。では、具体的な事例を紹介します。緊急事態対応手順に見事に沿った危機管理事例です。過日、ある地区から RIJYEM に相談がありました。

過日、電話が入りました。

- ・ A: 「72時間事案が発生…」
- ・ T: 「事案内容を聞かせて…」
- ・ A: 「ストーカー行為の申し立て…」
- ・ T: 「今後の対応は…」
- ・ A: 「保護隔離し、調査聞き取り、報告…」

相談内容は、「このような手順で進みますが、ほかにアドバイスはあるか？」という電話です。

A: 「72 時間事案が発生しました」

T: 「事案内容は、どのようなものですか？」

A: 「ハイ、学友 ROTEX のストーカー被害です。ストーカー行為を受けた ROTEX より地区委員長が、ハラスメント被害の申し立

てを受けました。数か月まえからラインがしつこく入っていたようです」

T: 「地区危機管理委員会は、動いているのでしょうか？」

A: 「ハイ、実は、危機管理委員長は、被害者 ROTEX の同スポンサークラブ会員なので、

ガバナーより、『委員長は利害関係者となる為、地区青少年保護役員のあなたのリーダーシップで、危機管理委員会を動かしてほしい』とされています」

T:「それで、今後の対応は、どうする予定ですか？」

A:「ハイ、RI の指針通りに動きます。まず、申し立てを受けてすぐさま地区委員長はガバナーに報告しましたので、ガバナーは承知をしています。ROTEX から聞き取り調査を、弁護士の立ち合いで行います。その後弁護士同伴で警察に事案の相談をします。また、72 時間以内に RI 青少年保護担当部に所定の報告書式をつかって連絡します」

T:「ところで、被害者 ROTEX とストーカーの引き離しは、どの様になっていますか？」

A:「ハイ、会員は既に退会届を RC に提出しているようです。ですから、奉仕活動や行事等で顔を合わせる事はないと思います。」

T:「なる程、しっかりとした対応です。こちらから追加する対応はありません」

以上のやり取りでした。

この地区の危機管理処理は、ハラスメント対応のモデルケースと言えるでしょう。

では、何故できたのでしょうか？ それは、緊急事態対応手順の「危機管理キャッチコピー」を十分理解していたからです。それが、これです。



これが緊急事態対応手順の「危機管理のキャッチコピー」です。

「C シー AND アンド G ジー P ピー S エス」です。「Catch and Governor Police Separate」とは、「申立てを受取る、ガバナーに報告、警察へ相談、被疑者から引離す」という事です。そして、ゼロトレ・72（ナナニー）・RI（アールアイ）です。ゼロトレとは、ゼロトレランスです。犯罪行為は、

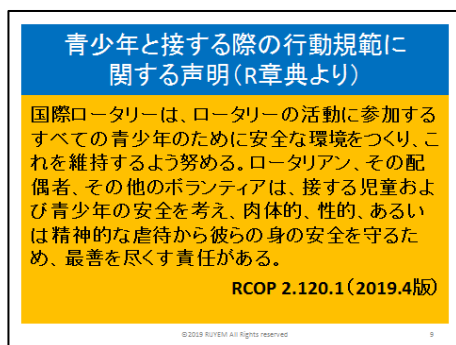
事情や状況に斟酌を与えず、必ず警察に相談するという事です。そして、72 時間以内に RI に報告をすることです。

しかし、覚えてはいるものの、この通りに行動できるかと言いますと、これがなかなか難しい。それは、正常性バイアスが働いてしまうからです。ある青少年が、あなたに「歓迎飲み会の帰り道で、抱きつかれた」と申し出をした場合に、あなたは、すぐにキャッチコピー通りに動けないのです。「それは、親愛の情を示すハグだったのでないか。酔っばらっているの、冗談だよ」と青少年を逆に説得してしまうことでしょう。そうさせてしまうのが、正常性バイアスです。

念のため正常性バイアスの説明を少しします。例えば、非常ベルが鳴っていても、「誰かが押し間違えたか、いたずらではないか」と思いがちです。しかし本当に事故や事件が発生しているのかも知れないのです。そのような場合、私たちは、部屋から出るとか、逃げるとか、やるべき行動がある事はよく承知しています。しかし、正常性バイアスによって、この範囲内の異常性を示す情報であれば「正常だ」と判断してしまうのです。そして、部屋に居続ける、そこに座り続ける、説得してしまう、といった行動をとることになります。

「正常性バイアスの実質的役割は、危険を無視することで心理的な安定を保とうとする自

我防衛にある。安心を重視する日本人は、この正常性バイアスが強く働く」と著書で放送大学奈良教授は警告しています。私たちは、既に「人がどれだけバイアスから影響を受けやすいか」を具体的に知っています。3.11の死亡者は約16,000人です。その内の92%が溺死、おぼれているのです。津波は、30分後に来ました。つまり逃げ遅れが原因とされています。さてここで、ロータリー章典に目を向けてみましょう。

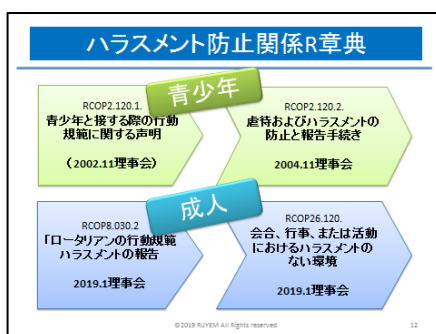
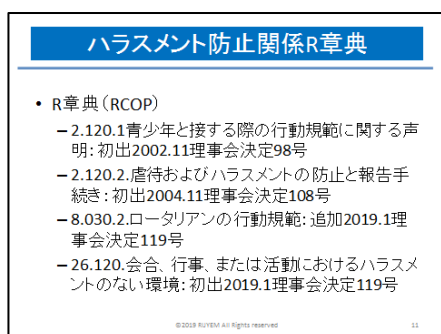


先ほどの、青少年交換の危機管理キャッチコピーは、この「声明」から始まっています。RIは、この「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を2002.11の理事会決定98号にて承認しています。

「国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々は、ロータリーを通じて関わる

児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある」

しかし、これからは、もう一つ追加をしなければならなくなりました。青少年に限った対応だけでは済まなくなってきました。つまり成人対応が求められて来たのです。



ハラスメント防止関係のロータリー章典です。大きく4つの規定があります。

青少年に関する規定として、「青少年と接する際の行動規範に関する声明」と「虐待およびハラスメントの防止と報告手続き」、そして、成人対応として、2019年1月に、「ロータリアンの行動規範」に「ハラスメントの報告」を追加し、同じく「会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境」を新設し対応手順を決めました。

また、RIは、「すべての地区ガバナーは、ガバナー就任前に青少年保護に関する研修を完了する必要がある」といったように、ハラスメント防止と青少年の保護に注力することを地区リーダーに求めています。

ハラスメント防止関係R章典					
組織区分別対応表(RCOP26.120より)					
番号	申立区分	対応部門	対応期間	不届申立先	その他
1	クラブ	理事会	1ヶ月	地区ガバナー	
2	地区	ガバナー (任命委員会)	1ヶ月	RI理事会	行動規範・方針策定
3	G・GE・GN	RI事務総長	2週間		
4	ゾーン	RI理事 (任命委員会)	1ヶ月		
5	RI理事・理事C・理事N	RI会長	2週間	RI会長	

ここで、先ほどの成人ハラスメント対応について区分ごとの手順を整理しましたのでご覧ください。

クラブで起こったハラスメント事案は、クラブ理事会で対応します。1ヶ月で解決しない場合は、地区ガバナーが対応するという事になります。地区では、ガバナーが対応し、1ヶ月の対応期間で解決しない場合は、RI 理事会が対応することになります。

青少年に関するハラスメントは、申し立てを受けた事案すべてを RI に 72 時間以内報告義務がありますが、成人ハラスメントでは、次のように定められています。「クラブ、地区、およびゾーンのリーダーは、深刻かつ広範囲におよぶハラスメントならびにその結果生じた会員身分の終結について事務総長に報告しなければならない。クラブまたは地区がハラスメントの調査結果への適切な対応を怠った場合、RI 理事は適切な措置を求めて RI 理事会に通知するものとする。そのような措置には、クラブの終結またはその他の適切な制裁が含まれる可能性がある (R 章典 26.120. 2019 年 10 月理事会会合、決定 48 号)」

実際に、RI 理事会は、D7530(West Virginia, USA)で起きたガバナーエレクトに対するハラスメントに対し、ガバナーと 2 名のパストガバナーの会員資格を終結させるように所属クラブに通達しているのです。

規定には事案が「深刻かつ広範囲におよぶハラスメント」の場合と限定をしていますが、ハラスメントの申し出を受けた場合は、事の大小にかかわらず警察へ相談したこと及び被疑者の会員身分についてどのようになったかを地区ガバナーに報告してください。

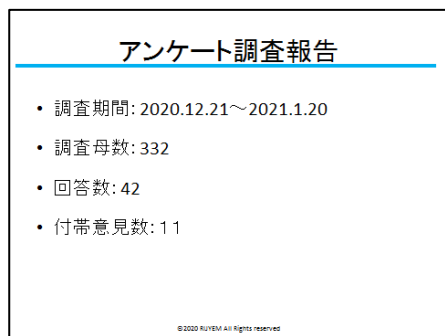
ところで、国内の法人企業にもハラスメント防止関係法の改正が出されています。パワハラ、セクハラ、マタハラのハラスメント 3 法です。

ハラスメント防止関係改正法			
	パワーハラスメント	セクシャルハラスメント	マタニティハラスメント等
法律	労働施策総合推進法	男女雇用機会均等法	男女雇用機会均等法 育児、介護休業法
指針	事業主が職場における過剰な業務負担を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針	事業主が職場における性的な言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針	〈省略〉
施行期日	2020年6月1日 (中小企業は2022年4月)	2020年6月1日	2020年6月1日

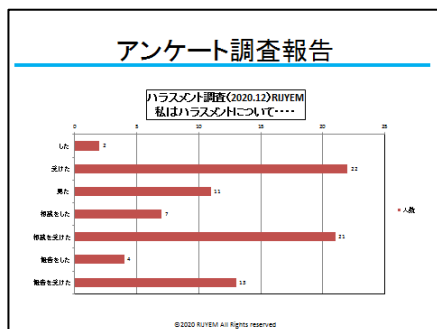
既にご案内と思いますが、国のハラスメント防止関係の法律が改正されました。パワハラ、セクハラ、マタハラです。2020 年 6 月に施行されましたが、パワハラについては、来年 2022 年 4 月に中小企業に適用されます。

日本のロータリーにはクラブや地区に事務局が置かれ、事務局員を雇用しています。法人組織ではないにしろ、みなし法人として防止の措置をしなければなりません。とは言っても、

ロータリーでは、成人に対するセクハラやパワハラなどが、表ざたになることはないようですが、実際はそうではありません。日常的に発生しているのです。



日本のロータリー関係には、ほとんど成人ハラスメントはないだろうと多寡をくくっていましたが、この思いをひっくり返されたのがこのアンケートです。このアンケートは、今年の1月24日に開催しましたRIJYEM主催の危機管理セミナーの前に行いましたサンプル調査です。その為、調査母数は332件で、回答数が42件とごく少ない数字です。ところが蓋を開けてみますと、この結果です。



グラフをご覧ください。

アンケート設問は、「私は、ハラスメントについて・・・」、「した」が2件、受けたが「22件」、「見た」が11件、「相談をした」が7件、「相談を受けた」が21件、「報告をした」が4件、「報告を受けた」が13件。延べ80件の事例がありました。回答率が13%で80件ですので、調査母数が大きくなれば、事例件数はもう少し多くなると考えられます。

す。

先ほども申しましたが、「ハラスメント事案は、日常的に発生しています。ただ気づいていないのか、目をそらしているのか、見聞き（みきき）してもバイアスが邪魔しているのかのどれかです」と言う事が数字になって表れています。



ここで、リスクを移転させる対象として保険を説明します。青少年個人を守る旅行保険と、ロータリアンを守る2本の人格権特約付賠償責任保険です。いわゆるハラスメント保険です。旅行保険は、青少年が海外に派遣される時に保護者が付保する保険です。ケガ病気、自然災害時の避難や個人賠償責任のカバーです。

人格権特約付賠償責任保険は、RIJYEMが契約者となり、被保険者はロータリアンです。地区が一括して保険料を支払っています。2つの区分があり、青少年交換プログラムに特化したものと、もう一つ広く青少年奉仕活動中の事案に対応するものです。



ロータリーにとって、リスクは沢山あります。地震津波山崩れ、大雨氾濫水浸し、ウイルス感染パンデミック、セクハラ・パワハラ個人情報、考えれば盛り沢山です。

想定外とされている感染症の拡大で、ロータリー奉仕活動がままならない状況が続いておりますが、過去の感染症も何れは収まっている歴史を見れば、あと少し我慢をする必要があります。

幸いにも、ワクチンや治療薬等の科学の進歩は、その我慢の時間を短くすることでしょう。

最後に、日本 34 地区では、様々な奉仕プログラムが展開されており、ロータリーの奉仕によって世界平和の実現に一步でも近づく努力が、多くのロータリアンによってなされております。その努力の汗が、ハラスメントによって輝きを失うことは是が非でも避けなくてはなりません。以上で、本日の卓話を終わります。貴重なお時間を頂き、本当にありがとうございます。



◇ 点 鐘

堀口 路加 会長

----- 第 11 回理事・役員会 -----

1. 5、6 月の例会及び事業、行事計画の確認

5 月 7 日(金)	通常例会 (Zoom 併用) 特別月間卓話 担当：青少年奉仕委員会 外部卓話 (津留起夫氏 市原 RC 会員) 第 11 回役員・理事会
9 日(日)	地区大会 (無観客開催)
14 日(金)	振替休会 対象：地区大会
17 日(月)	地区大会記念ゴルフ大会
21 日(金)	通常例会 (Zoom 併用) グループディスカッション発表
28 日(金)	通常例会 (Zoom 併用) 外部卓話 (藤崎康人氏 成田コスモポリタン RC 会員)
6 月 4 日(金)	通常例会 (Zoom 併用) クラブ協議会-8 第 12 回役員・理事会 (新旧合同理事会)
9 日(水)	移動例会 2 クラブ合同例会 会場：日航ホテル
11 日(金)	振替休会 (対象：2 クラブ合同例会) 2 クラブ合同親睦ゴルフコンペ 会場：久能カントリークラブ
12 日(土) ～16 日(水)	台北国際大会 (バーチャル大会)
18 日(金)	通常例会 (Zoom 併用) クラブ協議会-9
25 日(金)	最終例会 (夜間移動家族例会) 会場：ANA クラウンプラザホテル成田 ゴルフ同好会 (雨天中止)

※6 月 3 日 新旧合同会長・幹事会

※「祭りを見よう会」中止

移動例会は、コロナ禍の今後の政府、県の対応により変更になる場合があります。

承認

2. 2 クラブ合同親睦ゴルフコンペ及び合同例会について
ゴルフエントリー費 4,000 円（クラブ負担）、プレー代（各自清算）
合同例会について、詳細が決まり次第連絡 承認
3. クールビズ期間の件 （昨年度は 6 月 5 日から 9 月 30 日まで）
5 月 1 日～9 月 30 日（F A X・メールで事務局より連絡） 承認
4. 入会候補者の件
成田山新勝寺 庶務部長 西村照衆氏
(株)千葉銀行 成田支店 支店長 寺内亮祐氏
(株)FUJIDEN 代表取締役 藤崎 直也氏（富里ロータリークラブへ確認） 承認
5. インターアクト合同会議 4 月 20 日（火） 浅野正博会員が出席 承認
6. RLI パートⅡ・Ⅲの開催について
パートⅡ 5 月 31 日（月） 千葉市民会館にて
パートⅢ（前半）6 月 5 日（土）、（後半）6 月 13 日（日） いずれも Zoom にて開催
※両日参加必須
希望者を募る 承認
7. 地区大会 5 月 9 日（日） 無観客開催へ変更 YouTube オンラインライブ配信のみ 承認
8. 台北国際大会（バーチャル大会） 米国中部時間 6 月 12 日～16 日
参加希望者は国際大会ウェブサイトから各自オンライン登録 登録料 65 ドル
希望者を募る 承認
9. 成田市国際交流協会理事の推薦について 任期 2 年（令和 5 年 5 月末まで）
成田 温 会員 承認
10. 成田市社会福祉協議会より評議員の推薦について 任期 4 年（令和 7 年 6 月まで）
近藤 博貴 会員 承認
11. 成田市国際交流協会より令和 3 年度会費納入の件 5,000 円 承認
12. 成田市国際交流協会 令和 3 年度第 1 回理事会 5 月 10 日（月）
成田温会員が出席予定 承認
13. 成田山新勝寺第二十一世貫首 橋本照稔（元名誉会員） 本葬儀・告別式
5 月 22 日（土） 小泉英夫会員が出席予定 承認
14. 成田青年会議所 創立 50 周年記念式典 6 月 10 日（木） 登録料 5,000 円
浅野正博会員が出席予定 承認
15. 令和 3 年度なりた環境ネットワーク総会 5 月 24 日（月） 神崎誠会員が出席予定 承認
16. ロータリー財団への寄付について
戦略計画の目標達成のため 125,350 円を寄付
目標額一人 150 ドル×61（会員数）＝9,150 ドル

1,000 ドル寄付者 8 名 (9,150 ドル - 8,000 ドル=1,150 ドル)

1 ドル 109 円×1,150=125,350 円

承認

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
61 名	59 名	47 名	12 名	77.05%	73.33%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
渡辺 孝 会員	4 月 14 日	成田コスモポリタンロータークラブ
小宮山 四郎、長原 正夫、吉田 稔、永井 秀和 石橋 菊太郎、佐久間 高直、小坂 明宮己、神崎 誠 成田 温、成島 陽子、細井 将紀、近藤 博貴 桑野 博之、菊地 貴、越川 隆之、仲村 佳奈子 各会員	4 月 27 日	成田ロータークラブゴルフ同好会
渡辺 孝 会員	4 月 28 日	成田コスモポリタンロータークラブ
堀口 路加、長原 正夫、平山 秀樹、諸岡 正徳 成島 陽子、菊地 貴、永井 秀和、ローソンかおり 成田 温、諸岡 靖彦、小寺 眞澄、設楽 正行 各会員	5 月 7 日	第 11 回理事・役員会

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078



ロータリーは機会の扉を開く

成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2020年～2021年度会長 ホルガー・クナーク

第 2922 回例会 令和 3 年 5 月 21 日（金）

- ◇ 点 鐘 堀口 路加 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテスト 小坂 明宮己 会員
- ◇ お客様

成田コスモポリタンロータリークラブ 池田 和彦 様（ZOOM参加）

◇ ニコニコBOX



石橋 菊太郎 会員：美容院などによく置いてある婦人画報という雑誌があるのですが、その6月号「夏の食材」という部分で当店のウナギをお取り寄せということでご紹介いただきましたのでニコニコいたします。



成田 温 会員：5月10日に成田山公園に、石楠花を見に行きました。紅い花が見事に咲いていました。知らない会員の為に簡単に説明しますと、この石楠花は2018. 3. 30. に成田山開基1080年祭に記念の植樹を致したものです。

また、この年のRI イアン・ライズリー会長のテーマに「地球環境に配慮し、温暖化防止の為に、ロータリアン1人1本の樹を植えましょう。」がありまして、共感して行ったものです。

名取亭の脇の林の中の、小川を挟んだ兩岸の斜面に当時の会員数の71本の石楠花が植えられています。中々、野趣があり、よろしいのかと思いました。
ニコニコいたします。





永井 秀和 会員：5 月 17 日に地区大会記念ゴルフ大会が市原の舞鶴カントリー倶楽部で行われました。成田クラブからは私一人だけで、富里クラブの方と一緒に回らせて頂きました。第 10 グループは団体戦 4 位となりました。ご報告させていただきます。

◇ 会長の時間

堀口 路加 会長

5 月 31 日に期限を迎える東京都や大阪府に出されている緊急事態宣言が、さらに延長の可能性が出てきました。ファイザーだけでなく、米国モデルナ社と英アストラゼネカ社のコロナワクチンが承認され、いよいよ大規模接種も本格化すると思いますが、副反応が心配されるところです。これらのことについては 5 月 28 日に成田コスモポリタン RC の藤崎会員に改めて卓話でお話いただく予定です。

今日は 5 月 9 日に行われた地区大会の報告をさせていただきます。

諸岡ガバナー年度の地区大会が行われたのが昨年 2 月、その後のコロナ禍を考えると大規模な会合をリアルで開催できた貴重なチャンスだったと改めて思います。

漆原ガバナー年度の地区大会は昨年 10 月に予定されていましたが、5 月に延期となり、コロナ禍の終息を見ないことから 2 日間のプログラムを 1 日に短縮し、さらに出席者はクラブの会長・幹事に限定して開催する予定でしたが、千葉県内 12 市がまん延防止等重点措置対象地域になったことで、地区役員以外は YouTube を介しての参加となりました。

昨年の地区大会の準備を考えると、コロナ禍で刻々と状況が悪化していく中、中止するのではなく、新しい試みとして YouTube での地区大会の開催を決断されたことは大変な苦労があっただろうと頭が下がる思いがしました。



冒頭、漆原ガバナーから地区リーダーシッププラン（DLP）導入とガバナー補佐の任務の平準化を念頭においたグループ再編成計画を 2023 年度に延期すること（すでに 2 月に各クラブに通知済み）の説明があり、漆原ガバナーはグループ再編成計画によって地区内が騒動になったことに申し訳ないと頭を下げておられましたが、これは反対をした地区内クラブが CLP と DLP に対して正しい理解をしていなかったことにも原因があって、ガバナーだけが謝ることではないのにといいながら聞いておりました。

本地区大会にお越しいただいた本田博己（ひろき）RI 会長代理（前橋 RC）は 2006 年 10 月の地区大会（白鳥ガバナー年度）にクラブ活性化のためのパネラーとして参加したそうで、前橋 RC の「会員満足度向上の取り組み」の事例報告をしたことがあり、その時の主な話題がクラブリーダーシッププラン（CLP）を地区内クラブに導入してクラブの活性化を図ろうということだったそうです。

その後、成田 RC でも CLP を導入し、長期計画と数値目標を立て、現在のクラブ戦略計画につなげてきているのだと思いますが、地区内クラブの多くがこの CLP 導入には乗り気でなかったのか、いまだに CLP やクラブ戦略計画という言葉にアレルギーを感じるクラブもあるように聞いています。

本田 RI 会長代理は、ロータリーの戦略計画に触れ、現在の戦略計画はビジョン声明と行動計画があわさったもので、4 つの優先事項を行動に移すことの重要性をお話しされました。ロータリーの戦略計画を地区とクラブにおいて実際に実践していくための組織、仕組みが地区リーダーシッププラン（DLP）であり、クラブリーダーシッププラン（CLP）ですが、

当然国や地域が違えば課題やニーズも異なってくるわけで、クラブに活力がなければ成果あふれる奉仕プロジェクトも実践できないわけですし、会員増強が継続的に実現されなければクラブの担い手がいなくなり、ロータリー財団の支援もできなくなるわけです。戦略計画やビジョン、行動計画は私たちの本業の事業経営においても必要とされる共通の視点だと思います。CLPの第一段階には「クラブの3～5年後の姿を思い描く」とあります。ビジョンの立案と推進、そしてクラブの戦略計画（長期計画）が、クラブの課題解決や元気なクラブづくりへの突破口になるわけで、当クラブはすでにこのことには着手していますので、数値目標を含む行動計画の進捗状況を毎年確認しながらクラブが活発に動いているかを見直すことが大切です。

DLPは2002年から世界のすべての地区で義務採用となっていて、クラブリーダーシッププラン（CLP）は地区リーダーシッププラン（DLP）の効果をより高めるために2004年からDLPに追加して計画されたものであるということを改めて認識しました。

正確に理解するなら、DLPの目的は、より効果的な地区運営組織を推進して、地区内クラブの元気なクラブ作りを支援することであり、DLPとCLPは表裏一体で、相互に連携して推進することが望まれるということです。

本田RI会長代理の話のもう一つの柱は「奉仕の理念の実践」という点でした。詳細は省略しますが、奉仕の理念とは「他人のことを思いやり、他人の助けになること」で、ロータリアンであるということは、一つの生き方を選択したということでもあります。

ロータリーの「奉仕の理念」は、自分の生活の中に実現すべきもの、職業人であるロータリアンの拠り所となる実践的な人生哲学でもあるという言葉が印象に残っています。そして「奉仕の理念」の適用範囲は、初めは個人・地域社会への適用だったものが、世界に、地球全体に、そして地球規模の環境問題まで広がっているわけです。

ホルガークナークRI会長の「ロータリーは無限の機会への招待だ」という言葉の通り、ロータリーの多様な機会の扉は、いつでも開かれており、私たちが望めば、いつでも無限の機会が用意されています。積極的にロータリーに参加すれば、私たちの人生はより豊かなものになるというわけです。

日本のロータリー100周年を迎え、日本のロータリーの奉仕の第二世紀が始まります。改めてロータリーについて深く学び、知ることは私たちの事業経営にとっても、人生にとっても意味のあることだという思いを強くしました。

次年度のクラブ研修計画も考えていく上で、グループ再編やSRF（ロータリー未来形成）などロータリーの大きな変化の中でも、正しい理解をもってクラブが歩んでいくことを目標にしていきたいと考えます。

本日はビジターとしてZOOMで成田コスモポリタンRCの池田和彦様が参加しています。最後までどうぞくつろいでご参加ください。

今後、ZOOMでのメーキャップについて参加手続きやメールの送受信、メーキャップカードやメーキャップフィーなどの仕組みを整えていく必要がありますので永井秀和管理運営委員長に検討をお願いしたいと考えています。

◇入会式

・寺内 亮祐（てらうち りょうすけ）会員
株式会社 千葉銀行 成田支店 支店長
推薦者 堀口 路加 会長、諸岡 正徳 幹事
顧問 成田 温 会員
委員会 クラブ管理運営 親睦
米山記念奨学

職業分類 地方、外国為替銀行



銀行生活 30 年を過ぎて成田に来たのは初めてです。しかし成田にご縁の深い支店長がたくさんいて、先輩方から沢山の激励とアドバイスをいただきました。先輩方が全員同じことを言っていたのですが、成田は人生の中で思い出に残る、財産となる銀行員生活だったと。私もそう思えるように、一生懸命成田のために頑張りたいと思います。

成田へ来る前の 2 年ほどは本店勤務でした。ずっと支店勤務で 50 歳になって初めて本店勤務になったのですが、どうも本店の仕事は性に合わず、休みの日にゴルフに行っても中々スコアが良くなかったのですが、2 年ぶりに現場に出て心も体も絶好調で、かつての仲間に連絡し土日のゴルフを楽しんでおります。今、松戸の自宅に母親と妻、子供 5 人と一緒に住んでおります。田舎は茨城県の龍ヶ崎です。

目配り気配りを忘れず思いやりをもって仕事もロータリー活動もやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

◇ 地区報告

諸岡 靖彦 会員

5 月 15 日、我が親クラブであります 千葉 RC が 70 周年を迎え、記念例会に堀口会長の代理として、出席致しました。招かれたのは、ガバナーのほか直接の子クラブや第 3 グループ近隣のクラブでした。久しぶりのロータリーらしい会合でした。随所にセンスの利いたプログラムで、さすが千葉クラブ！記念の催しとなりました。

記念講話は マラソンのメダリスト・有森裕子さんの

『私のマラソン人生』、社会人になってから花開いたアスリートだったのですね、はじめて知りました。当クラブも、10 年後には 国際空港のおひざ元の RC として、垢ぬけたクラブになりたいものだと思います。



コロナ禍が陰しく、25 日に予定されていた『日本ロータリー 100 周年を祝う会』は無観客のリモート開催となりました。反面多くの会員と共有できることになりました。この機会に、日本ロータリー 100 年の動きの関心を持っていただき、これからの在り方に 思いを馳せてゆきたいと思います。

今年度地区の最終慰労会となります フェアウエル・パーティも、2 年連続で中止となりました。

最後に、空港を巡る動きについて：熊谷俊人県知事が空港視察、周辺 9 市町首長との意見交換会、経済団体をまじえた「地域振興連絡協議会・総会」出席のため、成田に来られました。

わずかの時間で意見具しました。コロナ禍で足下は真っ暗ですが、更なる機能拡充後の空港周辺地域の可能性につないでゆくために、闇の中に未来に向けた希望の橋を架けること、すなわち 9 市町の基幹産業である農業に先進技術を導入し、後継者を育て、農工商が 6 次化して食と農がつながり、観光にもつないで、地域内に大きな経済の流れをつくる、ブランド商品を育成し、海外に発信する、それを地域がマネジメントしマーケティングを担うこと、県が進めている戦略特区構想にこれを取り入れるよう申し上げました。

◇ 委員会報告

・広報公共イメージ向上委員会 平山 秀樹 委員長

ロータリーの友 5 月号に「父平山金吾がロータリークラブで学んだこと」というタイトルで記事を掲載させていただきました。また、月信に日本のロータリー 100 年で平山金吾会員について地区でまとめて頂いた文章が載っておりますので、皆様にお目通しいただけたらと思います。



◇ 表彰

米山功労者第 1 回

成島 陽子 会員



◇ 幹事報告

諸岡 正徳 幹事

【回覧】

- ・例会変更 白井ロータリークラブ
- ・週報 成田コスモポリタンロータリークラブ
- ・出欠表（ゴルフ同好会）
- ・地区 RLI 推進委員会より「RLI パートⅡ・Ⅲ オンライン開催のお知らせ」
- ・日本のロータリー 100 周年を祝う会事務局より「日本のロータリー 100 周年を祝う会 開催方法変更のお知らせ」 YouTube 開催
- ・（公財）ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま 254 号」
- ・（公財）ロータリー米山記念奨学会より「米山記念奨学事業へのご支援のお願い」
- ・ロータリーコーディネーター、ロータリー公共イメージコーディネーターより「コーディネーターニュース 2021 年 6 月号」
- ・2021 年台北国際大会推進コーディネーターより「バーチャル台北国際大会のプログラムのお知らせ」



- ・地区より「2020-21 年度地区大会のご報告と御礼」
 - ・ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会より「風の便り Vol. 6 No10(通刊 80 号)」
- 【連絡】
- ・次年度ロータリー手帳が届きましたので、必要な方は事務局まで
 - ・クールビズ適用開始の件（5/7～理事会にて承認済み）
 - ・例会開催方法について
 - ・地区大会決議（案）への議案の決議を行いますので、例会終了後理事の方は、前方へお集まりください。
 - ・2クラブ合同例会 6/9（水）12：30～13：30 於：成田ビューホテル
 - ・2クラブ合同ゴルフコンペ 6/11（金） 久能カントリークラブ

◇ グループディスカッション発表

§ 奉仕プロジェクトについて

発表者 仲村 佳奈子 会員

○浅野委員長より

ロータリークラブの活動促進の一環として「千葉県ママさんバレーボール連盟」と連携して、次年度は「ママさんバレー大会」の主催を検討している。既存の奉仕活動とは別に、ターゲットをかえて大会支援を通じロータリークラブの活動を広く知っていただく、特に海外諸国と比較し女性会員が少ない現状を踏まえ女性会員を増やすことも目的のひとつである。以上を踏まえてロータリークラブとしての参画方法についてご意見をいただきたい。



○会員からのご意見

- ・ママさんバレーの組織体制や構成メンバー等により支援内容は異なる
- ・行政（成田市）はロータリークラブの国際奉仕、少年奉仕等の活動について広く周知されている
- ・主催（支援）の在り方（継続的、単年度の支援）によっては双方の理解、配慮が必要
- ・金銭的な支援が望ましい
- ・女性会員を増やすことが目的であれば、ターゲット層も踏まえ検討が必要ではないか

時間の関係で全会一致には至らなかったが、上記意見を踏まえ今後検討することとした。

§ ロータリー財団について

発表者 小坂 明宮己 会員

- ・ ロータリー財団とは何かを再確認しました。
2790 地区各クラブ寄付実績の年次基金（個人平均）が 23 位となっており昔から比べると順位が低くなっている
- ・ 今年度は 150 ドル/人以上を目指したいと考えている
それを達成するには、本年度において会費の中より捻出も検討してみても意見もでました。
- ・ クラブ活動計画書の寄付者の表現の仕方を総寄付回数にした方がわかりやすいのではという意見が出ました。



§ 例会のあり方について

発表者 細井 将紀 会員（代読 永井 秀和 会員）

○ 例会のあり方、リモート例会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、例会を ZOOM を利用したリモート例会やリモート例会を併用して開催してきました。それについて意見を伺ったところ次の様な意見が出ました。

- ・ RC の例会は対面による開催が原則であると考えているが、感染を防止したうえで多くの会員が参加できるようにするためにも Zoom を併用することには賛成。
- ・ Zoom 利用に関し、自身は仕事で使っているため違和感なく利用できたが、使い慣れていない会員に対するフォロー体制、使用する機器をどうするかなどが課題。
- ・ おそらくリモート併用の例会はなくならないであろう。感染拡大が収まっても継続する必要があるように思う。
- ・ 同じリモートでも電話参加による会議であればハードルが下がるかもしれない。
- ・ スマホを使い Zoom に慣れていただいたほうが良いかもしれない。
- ・ Zoom では会場の音声を拾えてない、画像、音声については改善していきたい。
- ・ サテライト会場を設けて不慣れな方はそこで参加することも検討したい。
- ・ 例会の様子は録画により YouTube で共有しているところ。



リモート例会開催の課題としては、メイキャップのルール整備が必要。

リモートだとメイキャップカードが出せないなど他クラブからのメイキャップの受け入れ方法についても、メールを活用するなどのさらなる検討が必要
堀口会長からもルールを整備するよう求められた。

○ クラブ会報について

現在は、会員全員に印刷したペーパーの会報を発行しているが、発行は毎週でありその印刷に係る経費が一定の額発生している。経費削減のため、タイミングをみながら電子化したいと考えている。

今後、電子メールに慣れていない会員に向け慣熟を図ることが課題

○親睦及び RF 活動

今期はコロナ禍によりリモート親睦会を開催した。

新酒を楽しむ会では事前に新酒の送付したうえで、リモートで開催し親睦を図った。

コロナ禍でも開催できるもの、例えばゴルフ同好会は数回行った。今後釣りなども検討したい。

最終例会についてどう盛り上げていくかが課題。

コロナ禍にある現在、状況は刻々と変わっていくことが想定される。

予定している 6 月には、まだコロナワクチンの接種がいきわたっている状況ではないと考えられる。 家族の参加は見送り、密にならように会場の設定をして開催する。

5 月の理事会において家族の参加を見送り会員のみで夕方に ANA クラウンプラザホテル成田で開催することになりました。

◇ 点 鐘 堀口 路加 会長

臨時理事・役員会

1. 次年度地区予算（案）の承認の是非

5 月 21 日開催の臨時理事会において決議

承認

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
62 名	60 名	40 名	20 名	66.67%	77.05%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
渡辺 孝 会員	5 月 12 日	成田コスモポリタンロータリークラブ
矢野 理恵 会員	5 月 21 日	神奈川東ロータリークラブ
神崎 誠、諸岡 市郎左衛門 各会員	5 月 21 日	地区ロータリー財団委員会 (第 11 回)
矢野 理恵 会員	5 月 25 日	川崎中ロータリークラブ

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078



ロータリーは機会の扉を開く

成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2020年～2021年度会長 ホルガー・クナーク

第2923回例会 令和3年5月28日（金）

- ◇ 黙 祷 小川賢会員に哀悼の意を表して
- ◇ 点 鐘 堀口 路加 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテスト 土井 英二 会員
- ◇ お客様
 - 成田コスモポリタンロータリークラブ 藤崎 康人 様
 - 成田国際医療福祉大学大学院保健医療学専攻 臨床検査学分野
 - 成田保健医療学部 医学検査学科教授 竹内 啓晃 様
 - 米山記念奨学生 イサラム エムデイ ジャヘル さん

◇ ニコニコBOX



諸岡 靖彦 会員：5月25日、「日本のロータリー100周年を祝う会」がオンライン、You Tubeで、日本中に配信されました。リアルの会合でなく開催されたことが、多くの会員に、この100年の活動の意義を伝える機会となったことは 文明の利器の活用とともに、誠に喜ばしいことです。100周年という大きな節目に遭遇できたことは、皆様のロータリー・ライフを愉しむインパクト

になります。できる限りご覧になりますよう大いに推奨いたします。

プログラムは

1. プロローグ 日本のロータリー100周年ビデオ（20分）
2. セレモニー
3. 基調講演…千 玄室 100周年実行委員会委員長
「果たしてロータリーは？過去・現在・未来」
4. パネルディスカッション

「100周年を振り返り、これからの日本ロータリーを想う」をテーマで、斎藤直美・元RI理事の進行で辰野克彦、三木 明、渡辺好政、佐藤芳郎の日本ロータリー・シニアリーダー4氏が近年の時の流れに従って、『ロータリーの来し方・行く末』を、それぞれの角度から語ってくれました。基調講演の千さんは、申すまでもなく茶道裏千家大宗匠（先代お家元）、御年98歳、ロータリー日本財団理事長（現職）、RI理事、財団管理委員を歴任、文字通り戦後史の生き証人です。詳しい内容は、会長がお話されるでしょうから触れませんが、service→奉仕を日本文化として受け容れる方法について極めて分かりやすいお話で、RCの存在意義とあるべき姿を語り、特に印象に残る講演でした。パネルディ

スカッションでは、西暦2000年以降のRIの改革についてストレートな説明があり、多くの会員の皆様にしっかり受け止めていただきたい内容でした。

一身上のことですが、本日我が社の株主総会でこれまでの立場を退任し、相談役に就任いたしましたことを報告いたします。今後、ロータリーと地域活動に専念いたします。



眞々田 美智子 会員：私は今、一人で小さな会社を立ち上げようとしています。不動産の仕事にも関係するのですが、現在、建売の仕事は止めており賃貸がメインです。そこには生活保護を受給されている方もいらっしゃいます。10日前に部屋で一人亡くなり、1月にも亡くなりました。去年は6人。私はその度に、必ず三途の川を渡って天国に行って欲しいという願いを込め、1,000円を成田山に

納めております。

勿論、葬儀屋さんでも納棺の時に六文銭、白装束、足袋など用意してくださるのですが、私も別の意味で六文銭切符というのを考えました。このお守りを手作りで、夜一人でコツコツ縫っております。切符代は、色々な方にも相談し、この世とあの世の間にお坊さんが良いのではないかと考え納めてきました。皆さんの意見も聞かせてください。



長原 正夫 会員：稀勢の里の話題です。日本相撲協会は27日の理事会で、元横綱稀勢の里の荒磯親方(34)が8月1日付で田子ノ浦部屋から独立し、「荒磯部屋」を新設することを承認しました。序二段以下の力士4人と行司1人が転属するそうです。茨城県つくば市に一時的に部屋を構え、筑波大を仮の稽古場として利用。来年夏をめどに、親方の出身地の同県牛久市に近い阿見

町に部屋を新設します。稀勢の里は、早稲田大大学院スポーツ科学研究科の修士課程1年生で、まとめ上げた修士論文が最優秀論文として表彰されております。「新しい相撲部屋経営の在り方」がテーマで、時代に即した力士の指導法などを多角的な視点から論じています。

私が疑問なのは、元々私のすぐ近くの出身で、中学校は龍ヶ崎市立長山中学校。小学校は同じ地区の龍ヶ崎市立松葉小学校です。それなのに何故阿見町なのか……。どちらにしても早く稀勢の里の部屋から大関・横綱が出るように応援したいと思います。



佐藤 英雄 会員：本日の回覧に気仙沼ロータリークラブより震災から十年のご挨拶があります。成田クラブでも震災当時、色々な関りを持ってきました。今日は陸前高田の一本松についてお話します。松田会長の時に私は社会奉仕のリーダーでした。東日本大震災で奇跡の一本松がマスコミを通し広く知れ渡りましたが、何かできないかと会長に相談し、実際に私と石橋会員、深掘会員の

四人で行って来ました。私が考えている以上に被害を受けており、私の心を打ちました。気仙沼にもロータリーのクラブがあり、自分の会社が流された、奥さんが亡くなった、自宅が流された、そういう方の話を聞き、私も甘い考えで支援することを止め“奇跡の一本松を応援する会”を作ろうと、佐瀬会長の時、ラテン音楽のコンサートを開き義援金を奇

跡の一本松に送ろうと考えました。集まった義援金は、佐瀬会長と私と成田高校のインターアクト顧問の早川先生とインターアクトの生徒二人で届けてきました。私にとって、一本松は忘れられません。一昨日、陸前高田の関口さんから目標の4万本の松を植えたという話をいただきました。当時、義援金は100万円集まりましたが、そのうち30万円は2012年の九州北部豪雨被害に、そして70万円は陸前高田へ寄付いたしました。



石橋 菊太郎 会員：コロナが出て1年半、緊急事態宣言やらまん延防止法など、中々大変な日々が続きます。そんな中、コロナ自粛応援弁当というものを売り出しました。いつもなら2,500円する弁当なのですが、それを2,000円で千葉駅のペリエという駅ビルのコンコースで販売させていただきました。他にも何種類か一緒に販売いたしましたが大変好評で、来月、再来月にも同じ千葉駅のコンコースで販売することになりました。勿論、お店でも購入可能です。

◇ 会長の時間

堀口 路加 会長

5月31日に期限を迎える東京都や大阪府に出されている緊急事態宣言が、さらに延長の可能性が出てきました。ファイザーだけでなく、米国モデルナ社と英アストラゼネカ社のコロナワクチンが承認され、いよいよ大規模接種も本格化すると思いますが、副反応が心配されるところです。これらのことについては5月28日に成田コスモポリタンRCの藤崎会員に改めて卓話でお話いただく予定です。

今日は5月9日に行われた地区大会の報告をさせていただきます。

諸岡ガバナー年度の地区大会が行われたのが昨年2月、その後のコロナ禍を考えると大規模な会合をリアルで開催できた貴重なチャンスだったと改めて思います。

漆原ガバナー年度の地区大会は昨年10月に予定されていましたが、5月に延期となり、コロナ禍の終息を見ないことから2日間のプログラムを1日に短縮し、さらに出席者はクラブの会長・幹事に限定して開催する予定でしたが、千葉県内12市がまん延防止等重点措置対象地域になったことで、地区役員以外はYouTubeを介しての参加となりました。

昨年の地区大会の準備を考えると、コロナ禍で刻々と状況が悪化していく中、中止するのではなく、新しい試みとしてYouTubeでの地区大会の開催を決断されたことは大変な苦労があっただろうと頭が下がる思いがしました。



冒頭、漆原ガバナーから地区リーダーシッププラン（DLP）導入とガバナー補佐の任務の平準化を念頭においたグループ再編成計画を2023年度に延期すること（すでに2月に各クラブに通知済み）の説明があり、漆原ガバナーはグループ再編成計画によって地区内が騒動になったことに申し訳ないと頭を下げておられましたが、これは反対をした地区内クラブがCLPとDLPに対して正しい理解をしていなかったことにも原因があって、ガバナーだけが謝ることではないのにといいながら聞いておりました。

本地区大会にお越しいただいた本田博己（ひろき）RI会長代理（前橋RC）は2006年10月の地区大会（白鳥ガバナー年度）にクラブ活性化のためのパネラーとして参加したそうで、前橋RCの「会員満足度向上の取り組み」の事例報告をしたことがあり、その時の主な話題がクラブリーダーシッププラン（CLP）を地区内クラブに導入してクラブの活性化を図ろう

ということだったそうです。

その後、成田 RC でも CLP を導入し、長期計画と数値目標を立て、現在のクラブ戦略計画につなげてきているのだと思いますが、地区内クラブの多くがこの CLP 導入には乗り気でなかったのか、いまだに CLP やクラブ戦略計画という言葉にアレルギーを感じるクラブもあるように聞いています。

本田 RI 会長代理は、ロータリーの戦略計画に触れ、現在の戦略計画はビジョン声明と行動計画があわさったもので、4つの優先事項を行動に移すことの重要性をお話されました。ロータリーの戦略計画を地区とクラブにおいて実際に実践していくための組織、仕組みが地区リーダーシッププラン（DLP）であり、クラブリーダーシッププラン（CLP）ですが、当然国や地域が違えば課題やニーズも異なってくるわけで、クラブに活力がなければ成果あふれる奉仕プロジェクトも実践できないわけですし、会員増強が継続的に実現されなければクラブの担い手がいなくなり、ロータリー財団の支援もできなくなるわけです。戦略計画やビジョン、行動計画は私たちの本業の事業経営においても必要とされる共通の視点だと思います。CLP の第一段階には「クラブの3～5年後の姿を思い描く」とあります。ビジョンの立案と推進、そしてクラブの戦略計画（長期計画）が、クラブの課題解決や元気なクラブづくりへの突破口になるわけで、当クラブはすでにこのことには着手していますので、数値目標を含む行動計画の進捗状況を毎年確認しながらクラブが活発に動いているかを見直すことが大切です。

DLP は 2002 年から世界のすべての地区で義務採用となっていて、クラブリーダーシッププラン（CLP）は地区リーダーシッププラン（DLP）の効果をより高めるために 2004 年から DLP に追加して計画されたものであるということに改めて認識しました。

正確に理解するなら、DLP の目的は、より効果的な地区運営組織を推進して、地区内クラブの元気なクラブ作りを支援することであり、DLP と CLP は表裏一体で、相互に連携して推進することが望まれるということです。

本田 RI 会長代理の話のもう一つの柱は「奉仕の理念の実践」という点でした。詳細は省略しますが、奉仕の理念とは「他人のことを思いやり、他人の助けになること」で、ロータリアンであるということは、一つの生き方を選択したということでもあります。

ロータリーの「奉仕の理念」は、自分の生活の中に実現すべきもの、職業人であるロータリアンの拠り所となる実践的な人生哲学でもあるという言葉が印象に残っています。そして「奉仕の理念」の適用範囲は、初めは個人・地域社会への適用だったものが、世界に、地球全体に、そして地球規模の環境問題まで広がっているわけです。

ホルガークナーク RI 会長の「ロータリーは無限の機会への招待だ」という言葉の通り、ロータリーの多様な機会の扉は、いつでも開かれており、私たちが望めば、いつでも無限の機会が用意されています。積極的にロータリーに参加すれば、私たちの人生はより豊かなものになるというわけです。

日本のロータリー100 周年を迎え、日本のロータリーの奉仕の第二世紀が始まります。改めてロータリーについて深く学び、知ることは私たちの事業経営にとっても、人生にとっても意味のあることだという思いを強くしました。

次年度のクラブ研修計画も考えていく上で、グループ再編や SRF（ロータリー未来形成）などロータリーの大きな変化の中でも、正しい理解をもってクラブが歩んでいくことを目標にしていきたいと考えます。

本日はビジターとして ZOOM で成田コスモポリタン RC の池田和彦様が参加しています。最後までどうぞくつろいでご参加ください。

今後、ZOOM でのメーキャップについて参加手続きやメールの送受信、メーキャップカードやメーキャップフィーなどの仕組みを整えていく必要がありますので永井秀和管理運営委

員長に検討をお願いしたいと考えています。

◇ 委嘱状

2020-21 年度国際ロータリー第 2790 地区

SRF 検討委員会 委員 諸岡 靖彦 会員



◇ 米山記念奨学生

イサラム エムデイ ジャヘル さん



いつもお世話になります。いま新型コロナウイルスで色んな問題が起きていますが、ロータリアンの皆様のおかげで毎月奨学金をいただき、国際医療福祉大学の竹内先生の所で博士課程の1年生として研究を進めることができます。皆様には心からいつも感謝しています。先日、新しい奨学生と一緒に研修会が行われました。直接会って話を聞きたかったのですが、コロナ禍ということもあり、ZOOMでの研修会となりました。色々な国の新しい奨学生と色々な話をすることができ、本当に嬉しかったです。今日は成田病院の藤崎先生の卓話を楽しみに聞こうと思っています。これからもよろしくお願いいたします。



◇ 委員会報告

・ロータリー財団・米山記念奨学委員会

諸岡 市郎左衛門 委員長

ロータリー財団へ1,000ドル

角田 幸弘 会員、矢野 理恵 会員

米山記念奨学会へ10万円

矢野 理恵 会員



◇ 幹事報告

小寺 眞澄 副幹事

【回覧】

- ・例会変更 多古ロータリークラブ
- ・週報 佐原 香取ロータリークラブ
- ・出欠表 (6月例会、ゴルフ同好会ゴルフコンペ)
- ・小川賢会員訃報のお知らせ
- ・気仙沼ロータリークラブより震災から十年のご挨拶とポストカード
- ・地区ロータリー財団委員会より「2021年4月 地区財団月次寄付レポート」
- ・ロータリー米山記念奨学会より「米山奨学事業へのご支援のお願い」
- ・勝浦ロータリークラブより例会場住所変更のお知らせ
- ・2021年台北国際大会推進コーディネーターより「バーチャル台北国際大会のプログラムのお知らせ」



- ・（公財）交通遺児育英会より「君とつばさ 第349号」
- ・日本赤十字社千葉県支部より活動資金へのご協力をお願い
- ・（一社）成田市スポーツ協会より定時社員総会資料
- ・ロータリーの友事務所より「ロータリー日本100年史」発行のお知らせ

【連絡】

・本日執り行われます小川賢会員のお通夜ですが、蜜を避ける為 17 時より焼香が可能です。

◇ 卓話

新型コロナウイルスについて

成田病院 院長 藤崎 康人 様
(成田コスモポリタンロータリークラブ)

今日は、新型コロナウイルスについての卓話をいたします。

今年の1月から3月にかけて、私の勤務している成田病院とその併設施設の介護老人保健施設の百寿園にて新型コロナウイルスの集団感染（クラスター）を経験しましたので、そのことについての実体験を交えて新型コロナウイルスのお話をさせていただきます。



新型コロナウイルスに関しては、2019年12月に中国の武漢で患者さんが発生してから、連日テレビ等で、いろいろな情報が発せられていますので、そのような話は、聞き飽きていると思いますので、私の勤務している成田病院と併設している老人保健施設で発生した新型コロナウイルスクラスターについて主にお話したいと思います。

一応、新型コロナウイルスについて簡単に触れたいと思います。

2019年12月中国の武漢から発生し、あっという間にパンデミックとなった新型コロナウイルスは、日本にもその後伝搬し、3月～5月の第一波、8月～10月の第二波、12月から今年の3月までの第3波、その後、4月初めから現在までの第4波の流行となっています。

コロナウィルスという名前は、電子顕微鏡で観察された写真で、ウィルス表面に王冠のような突起物が観察されることからその名前がついたようです。世界には何十種類コロナウィルスが存在していますが、人に感染するコロナウィルスとしては、今まで6種類がわかっていました。それらの内、4種類のコロナウィルスは普通の風邪程度の上気道感染症をおこしますが、数日で軽快してしまいます。世の中では、常に人から人に感染が生じていますが、重篤になることはなく、数日で軽快してしまうため、問題になることはありません。残りの2つは、SARSとMERSで、ともに1990年代に発見され、致死率も新型コロナウイルスより高く恐ろしいウィルスですが、SARSは流行地域での一定期間の感染対策により自然消滅、MERSは中東の一部の限られた地域で小さな流行が時々発生しているにすぎません。7番目のコロナウィルスが、今回、2019年12月に中国の武漢から世

界に感染拡大が始まったといわれている新型コロナウイルスです。ウィルス名は WHO 長官により、SARS-CoV-2 と名付けられました。このウィルスの厄介な点は、ウィルス感染後、いわゆる風邪症状が出現する前、何の症状もない状態で、ウィルスを周りに拡散してしまう事です。なので、普通に元気に生活したり、働いている人が、感染源となり、ウィルスを拡散し、周りの人に感染させてしまう能力を持っている事なんです。

世の中の新型コロナウイルスについての話はまたの機会にして、成田病院で経験した COVID-19 のクラスター事例について話を変えます。

成田病院に併設している老人保健施設の百寿園と成田病院の病棟で今の 1 月～3 月にかけて新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) のクラスターが発生してしまいました。その経験についてお話させていただきます。なお、クラスターとは、厚労省の考え方では、ある感染源から、5 人以上の感染者が短期間のうちの発生した事例をいいます。有効な感染対策をしないと、さらなる感染者の増加の可能性が高く、保健所が積極的に対応策について介入してくれます。

まず、百寿園の事例についてお話します。

百寿園は、介護保険制度上の介護老人保健施設といって、病気ではなく、いわゆる老化に伴い、介護が必要となった高齢者の方々のお世話をする施設です。今回のクラスター事例の始まりは、1 月 23 日、当施設の看護師が発熱、咳、咽頭痛で成田病院の外来診察でコロナ抗原陽性で COVID-19 と診断されたことでした。後日、保健所の追跡調査で、そのスタッフは、おなじシェアハウスにいた女性から感染していたことがわかりました。この看護職員の感染はいわゆる家庭内感染と考えられました。今まで当施設および成田病院では職員のコロナ感染単発例は、数件発生していましたが、施設内クラスターの経験はなく、コロナ感染者が発生した当日、具体的な対応策がわからず、器材も十分でなく、不足の器材調達のため、あわてて、近くのデイトーやらケーズデンキに調達に走ったりしました。介護老人保健施設は病院に比べ職員数も多くなく、かなり厳密に有効な感染対策をするのは困難でした。幸い、百寿園は隣に成田病院があり、日頃から感染対策チームが活動しており、コロナ対策の知識のあるスタッフが複数いたため、午後から、急遽、成田病院の感染対策チームのスタッフを 10 名ほど百寿園に投入し、それらの人材が応援スタッフとして動いてくれたお陰で対応は迅速にできました。さらに、ゾーニング（コロナ陽性者、濃厚接触者、それ以外の感染の可能性の低い入所者を分離して管理する事）施行。感染防御衣の確保、着衣スペース・脱衣スペースの設置、使い捨て用品の拡充、空気清浄機の購入等等、にわか仕立てでしたが、発生確認翌日のよる 10 時頃に、一応感染対策が整いました。また、1 月 23 日、最初の看護師の新型コロナウイルス感染の診断日に、施設入所者全員と職員全員、計約 110 人の PCR 検査を同日に行いました。その結果、同施設の別の看護師 1 名も PCR 陽性と、翌日 (1/24) 判明しました。当然感染している看護師は、出勤停止、自宅またはホテルでの健康観察となりました。一般的に、SARS-CoV-19 ウィルスは容易に感染

拡大が生じ、クラスターに発展しやすい事がわかっているため、その後も PCR 検査を上記同様、入所者と職員に対し、1/25、1/30、2/2、2/5 施行しました。その結果、1/25 の PCR 検査で施設入所者 2 名の陽性、1/26 職員が発熱と風邪症状発症のため、迅速 SARS-CoV-19 ウィルス抗原検査を施行し陽性、1/30 の PCR 検査で、施設入所者 7 名、職員 1 名が陽性、2/2 の PCR 検査で職員 1 名陽性、2/5 の PCR 検査で施設入所者 1 名の陽性、が判明しました。

この 2/5 というのは、最初に百寿園で感染者（看護師）が診断された日から 13 日目です。1/23 以降、複数回入所者と職員に PCR 検査をしているのにも関わらず、2/5 までは、ずっと PCR が陽性とはならず、2/5 に陽性となったケースです。この様に、初発感染者が判明し、その当日から感染対策を行っても、その時点で、すでに同じ施設内の人たちに感染が広がっていて、その後、何日か経って、発症または、PCR 陽性が明らかになってくるわけです。今回のクラスター事例で最後に感染が判明した患者さんは、実に感染対策を開始して、13 日目によりやうく PCR が陽性になり、感染と診断されたわけです。一応、今までの知見では、潜伏期（感染してから発症したり、PCR が陽性になるまでの日数）は 2-14 日となっていますが、今回のケースは 14 日の 1 日前でした。

この様に、発症や PCR 陽性になるまでの期間がまちまちのため、感染者を早期に発見するには、3 日に 1 回程度の頻度での PCR 検査が必要と考えられます。そうしないと PCR 陽性になっていてもそれを把握できない状態が放置されてしまう事になります。なにかしら症状があれば診断しやすいのですが、無症状でコロナウィルスを排出している状態が何日間か生じてしまうので。その期間をできるだけ短くする手段としては頻回の抗原検査か PCR 検査しかありません。ただし、抗原検査は感度が PCR 検査より低いため、抗原検査で陰性、PCR で陽性となるケースも少なくないので、PCR を定期的に行う事が望ましいと考えられます。

今回の百寿園の新型コロナウイルスクラスターは、PCR 陽性者が合計で、職員 3 名、入所者 11 名の感染者（抗原もしくは PCR 陽性者）が発生し、2 月 23 日に新たな陽性者はなく、終息しました。そのうちおひとりの方が、コロナ専用病棟のある成田赤十字病院に転院しましたが、転院後 2 月 15 日に死亡されましたが、そのほかの入所者及び職員は全員、回復しました。

次に 2 月 1 日に成田病院の一般病棟の 5A 病棟の職員の発熱者が新型コロナ抗原陽性と判明し、翌日、5A 病棟の職員と入院患者さん全員の PCR 検査試行。そのうち、2 名の患者さんが PCR 陽性となる。PCR 陽性者が職員と入院患者さんから複数発生したため、クラスター対策が必要と判断し、2 月 2 日に、5A 病棟の左側の病棟をゾーニングし、ナースステーションもデイルームを使用し二つに分けて対応しました。その後も、2 月 3 日に看護師が発熱、抗原陽性。2 月 9 日に施行した PCR 検査で、更に新たに 2 人の入院患者さんが陽性となりました。結局、ゾーニングした 5A 左側病棟には、PCR 陽性となった元々 5A に入院

していた患者さん 4 名、その他の患者さん 4 名が入院しました。その他の患者さんとは、百寿園から COVID-19 治療のため入院した患者さん 1 名、あとで話しますが、1 月 31 日に 5A から精神科の S4 東転床した当日に発熱しコロナ抗原陽性と判明した患者さん 1 名、その患者さんを契機に発生した S4 東病棟で発生したコロナクラスターで感染した患者さん 2 名です。一部の呼吸状態が悪化した患者さんには、レミデシビルというエボラ出血熱に使用する薬とデカドロンで治療し、皆さん回復しました。5A 病棟のコロナクラスターは、2 月 26 日に感染は終息しました。

次に当院精神科病棟のうちの S4 東病棟でも、コロナ患者さんが発生し、百寿園、5A 病棟と同様のゾーニング、感染対策を行いました。精神科病棟は、感染対策をしっかりとやるには、入院患者さんの協力も期待できず、スタッフも不慣れなため、一般病棟からの応援スタッフが協力し、感染対策を行いつつ、コロナ陽性患者さんを、コロナ治療病棟にした、5A 病棟に移動させ、治療を行いました。こちらは、2 月 25 日に終息となりました。

最後に、新型コロナウイルスのワクチン接種の話を少しします。

現在、日本でもワクチンが開発されていますが、日本は開発や安全性の試験に時間がかかっていて、日本製ワクチンの実用化は、まだ、1 年くらいかかりそうです。

日本では、ようやく、今年の 2 月から一部の医療機関の職員を対象とした新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社製）の先行接種が始まりました。日本で認可承認されている SARS-CoV-2 に対するワクチンは、ファイザー社製とモデルナ社製の RNA ワクチンとアストラゼネカ社製のベクターワクチンだけです。今まで接種されたのは、ほとんどがファイザー社製のコミナティというワクチンです。今までのワクチンとは仕組みが異なり、RNA ワクチンといい、新しい技術を用いたものです。開発に要した期間は、約 1 年ですが、その短い期間の中で、開発が成功した訳です。ファイザー社製のコミナティは、ベルギーのファイザー社の工場で作られており、EU の承認がないと輸出できないそうです。3 月の段階では、予定された数より少ない輸入数となっており、当初政府が見積もった接種計画に遅れが出ていました。その後、ベルギーの工場の生産ラインを増強したため、5 月中旬ごろから急にファイザー製ワクチンの輸入量が急増してきています。今までは、接種しようにもワクチンが足りない状況でしたが、今度は、それとは逆に、接種の打ち手がそれに追いつかない状況になりそうです。

成田市のワクチン接種に関しては、医療従事者用として、3月上旬に成田赤十字病院、中旬に国際医療福祉大学成田病院の職員対象に接種が始まりました。その他の医療機関分は、4月中旬頃から接種が行われるようになり、5月中にはほぼ接種は終了します。65歳以上の高齢者用ワクチンは、配布の仕組みが異なり、4月19日と26日に各1箱（195バイアル）計2箱（1950回分）が配布され、その後、5月18日以降、十分な量が供給されることになっていて、本格的に集団接種と個別接種が並行して進むと思います。ワクチン供給予定をスライドで示しますが、5月、6月、7月で計約62,000回分のワクチンが確保されています。現在、集団接種が週6日1回約400人の接種予定で予約を取ってもらっています。また、個別接種もおそらく、市内約40の医療機関で一日300～400人以上の接種を行っていくと思われます。成田市の65歳以上の人口は約32,000人ですので、そのうちの約8割の方がコロナの予防接種を受けると考えると、約51200回のワクチン接種が必要と試算されます。一日700～800のワクチン接種が行われれば、ほぼ7月中か、おそくとも、お盆前には接種を希望している65歳以上の成田市民の方の接種は終了すると思われます。その後、65歳未満の基礎疾患のある人、高齢者施設の職員、一般の方、に接種が広がっていくと思われます。また、ファイザー製ワクチンは近日中に12歳以上にも接種適応がひろがる予定なので、中学生にも接種が行われるようになると思います。ワクチン接種がすべての日本人にいきわたるには、来年の1月～2月まではかかると考えられています。その時期になれば、日常生活の制約もかなり軽減されてくると思います。

本日は、これで新型コロナウイルスの話を終わります。



◇ 点 鐘 堀口 路加 会長

出 席 表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
61名	60名	42名	18名	70.00%	71.67%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
諸岡 靖彦 会員	5月9日	地区大会（無観客、オンライン）
諸岡 靖彦 会員	5月15日	千葉 RC70 周年記念例会
神崎 誠 会員	5月24日	成田環境ネットワーク総会
諸岡 靖彦 会員	5月25日	日本のロータリー100周年を祝う会（オンライン開催）
諸岡 靖彦 会員	5月31日	地区大会資格審査委員会

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078